



東小学校便り

PLUS

木 洩 れ 陽 +

令和6年1月12日 No.9

令和6年が始まり十日余り過ぎました。誰もが穏やかな正月になってほしいという願いをお持ちだったとは思いますが、能登地方を震源とした大地震、羽田空港での航空機事故と、立て続けに大きな災害、事故が起きました。何事もない日常が、実は最高の恵みなのだと思います。この一年、誰もが平穏無事に過ごせますことを、心から願うばかりです。

さて、3学期に入りますと、否が応でも新年度が気にかかり始めます。先日何気なく6年生の教室を眺めたところ、卒業までのカウントダウンカードが掲げられていました。子ども達が実際に学校に登校する日数は、もう50日を切っていたのです。まさに“光陰矢のごとし”です。そう言えば、最近どの学年の子どもも1、2学期に比べ、たくましさを感じるようになってきました。

素直な疑問符

吉野弘（よしの ひろし）

小鳥に声をかけてみた
小鳥は不思議そうに首をかしげた

わからないから
わからないと
素直にかしげた
あれは自然な首のひねり
てらわれない美しい疑問符のかたち

時に
風の如く
耳もとで鳴る
意味不明な訪れに
わたしもまた
素直にかしぐ
小鳥の首でありたい

